

1. 出題範囲

- 「 2. 介護における尊厳の保持・自立支援」から
- 「 9. ころとからだのしくみと生活支援技術」までとする。

2. 出題形式

筆記試験：三肢択一方式、正誤問題、記述問題とする。

3. 出題数と配点方法

- ・ 択一問題 10問（1問×4点）
- ・ 正誤問題 15問（1問×4点）

全問正解：100点

4. 合否判定基準

- ・ 70点以上とする。

5. 不合格になったときの対応方法

- ・ 結果発表後、4時間の補習のうえ再試験・再評価を行う。
なお再試験・再評価に係る合格基準は70点とする。
- ・ 補講・再試験・再評価を最大5回まで実施する。
なお、再試験・再評価の結果、不合格であった者には、個別指導を行い、最終試験及び論文提出により、評価を行う。
個別指導・最終試験・論文再評価